

# 油圧引抜試験機

RIKEN製

あと施工アンカー引き抜き試験機

## 取扱説明書



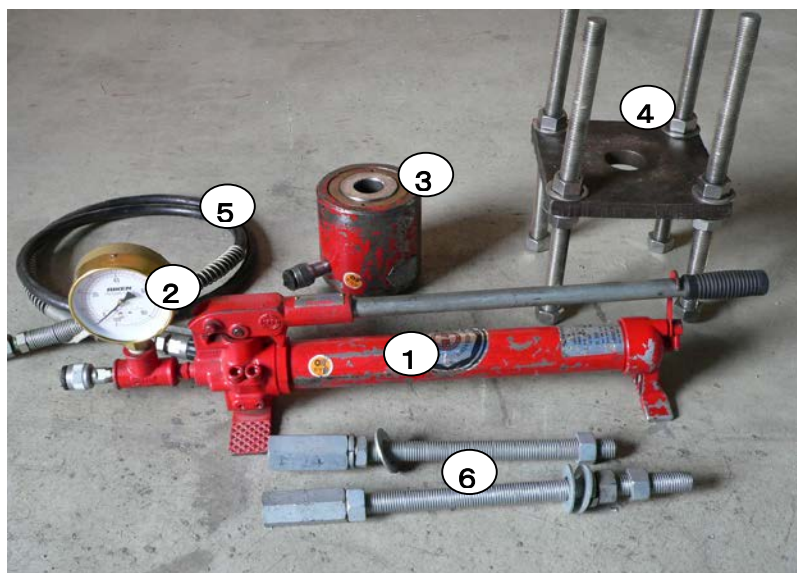
株式会社 トラスト

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号  
TEL 072-621-4164 FAX 072-621-4166

## 目 次

1	各 部 名 称	P-1
2	組 立 手 順	P 2~4
3	操 作 手 順	P 5~6
4	注 意 事 項	P-7





- ① 油 圧 ポ ン プ
- ② 油 圧 ゲ ー ジ ( KN 計 )
- ③ セ ン タ ー ホ ー ル ジ ャ ッ キ
- ④ ジ ャ ッ キ ベ ー ス
- ⑤ 油 圧 ホ ー ス
- ⑥ セ ン タ ー シ ャ フ ト ( ジ ョ イ ン ト ナ ッ ト S E T )
- ⑦ 出 戻 バ ル ブ
- ⑧ 空 気 弁
- ⑨ ハ ン ド ル 固 定 器 具

## 組み立て手順

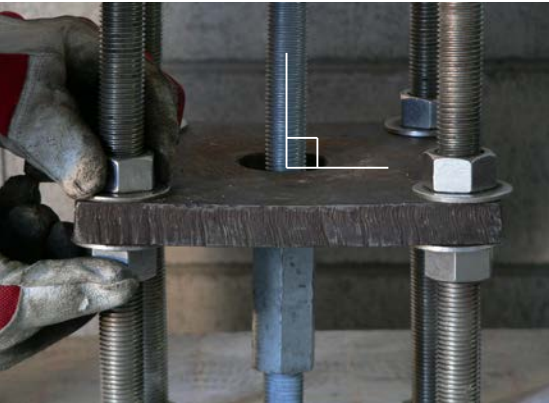


- ① アンカーボルトに適合するセンターシャフト(ジョイントナット付)をねじ込みます。

この際ねじ込みは確実に行って下さい。ねじ込みが不十分であるとボルト等のねじ山を傷める場合があります。



- ② ジャッキベースを挿入します。



- ③ 脚の調節

検査を行う躯体表面に凹凸がある場合や、アンカーが躯体に対して直角に施工されていない場合は脚を調節し、シャフトと反力台が直角に交わるようにセットします。



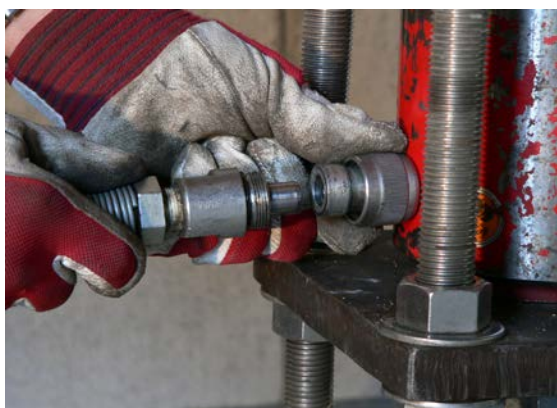
- ④ センターホールジャッキを挿入します。



- ⑤ センターシャフトにワッシャー・ナットを取り付けます。



- ⑥ 全体的にガタツキの無いように、それぞれのナットを締め付け、固定します。  
センターシャフトのナットは締めすぎないように注意してください。



- ⑦ 油圧ホースの取り付け  
オス・メスのそれぞれのカップラのキャップを外して、穴位置を合し奥まで差し込み、取り付けます。

( ジャッキ側 )



- ⑧ 油圧ホースの取り付け  
⑦と同様に取り付けを行います。  
( 油圧ポンプ側 )  
→ この部分はネジ式になっていますので、“手”で締め付けを行って下さい。締めが不十分であると、OIL漏れや、機械の故障となる場合があります。



⑨ 組み立て完了

**注意！！！！**

油圧ポンプを設置する位置は、なるべく平坦な場所を選んで設置し、又検査をする面が壁面の場合はその真下、及び正面には絶対に設置しないで下さい！ボルト・躯体等の破断による機器の落下で事故につながります。

## 操作手順



- ① ゲージの針が "0" を指している事を確認して下さい。



- ② 出戻バルブを一旦 "左" に回します。

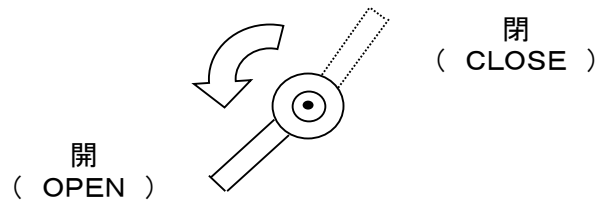
( 戻し )



- ③ ハンドルを下に押しながら、固定器具を外します。



- ④ 空気弁を開きます。"OPEN" の位置にします。



- ⑤ 出戻バルブを "右" に、止まるまで回します。

( 作動時 )



- ⑥ 加圧して検査を開始します。  
ハンドルを”ゆっくり”と上下させて、荷重をかけます。



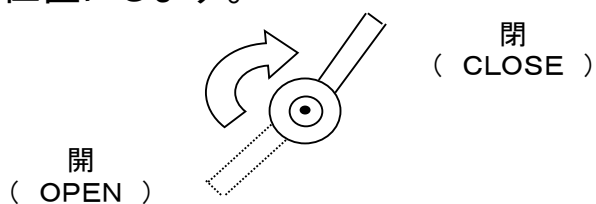
- ⑦ 目盛の読み取り  
目盛の読み取りは”赤”の目盛を読み取ります。”赤”の目盛1目盛が10kNです。



- ⑧ 減圧  
出戻バルブを”ゆっくり”と”左”に回して減圧します。減圧は”いき”に行わないで下さい。ゲージを破損する場合があります。



- ⑨ 空気弁を閉じます。”CLOSE”の位置にします。



- ⑩ ハンドルを下に押しながら、固定器具にはめ込みます。移動する際は必ず、この固定器具にてハンドルを固定して下さい。



説明書をよく読み理解してから、ご使用頂くようお願いいたします。

引抜試験機を他の用途に使用しないで下さい。用途外使用の禁止。

#### 機器の検査について？

油圧引抜試験機は定期的に検査を行っております。

検査証等、必要であれば申し出て頂く様お願い致します。

#### 引抜荷重について？

あと施工アンカー、引抜試験での引抜荷重は、それぞれの現場、または、設計事務所によって多少異なる場合があります。

荷重値は設計事務所、又は、現場監督に確認した後、引抜試験を行って下さい。

その他、ご質問等ございましたら当社、技術部までご連絡頂ければ、適切にご指導させていただきます。

尚、当社では、『引抜試験結果報告書』も作成致します。

お気軽にご相談下さい。



**株式会社 トラスト**

〒567-0029 大阪府茨木市五日市緑町5番32号  
TEL 072-621-4164 FAX 072-621-4166  
P-7